

2019年11月28日

各位

名古屋市中区栄三丁目33番13号
 株式会社 中京銀行

「サステナビリティボンド」への投資について



中京銀行（頭取 永井 涼）は、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するサステナビリティボンドへ投資いたしましたので、お知らせします。

「サステナビリティボンド」とは、①環境改善効果があり（グリーン性）、②社会的課題の解決に資する（ソーシャル性）事業に資金使途を限定して発行する債券です。

本債券の発行により調達した資金は、鉄道建設プロジェクトや船舶共有建造プロジェクトに充当され、国連の提唱するSDGs（※1）の達成に貢献するものです。

当行は、「中京銀行SDGs宣言」を行っており、今後も金融を通じて持続可能な社会の実現と当行の企業価値向上に努めてまいります。

記

<投資したサステナビリティボンドの概要>

銘柄	第132回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2019年11月28日
その他	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な第三者評価機関であるDNV GL（※2）からのプログラム認証を受けております。 環境改善効果については、厳格な国際基準を設けるCBI（※3）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）を取得しております。

（※1）SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、「誰一人取り残さない」という理念のもと、あらゆる人が幸せに暮らせる持続可能な社会の実現に向けて、2015年に国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、働きがいや経済成長、気候変動など17の目標と169のターゲットで構成されており、2030年までの達成を目指しています。

（※2）DNV GLとは 生命・財産、環境の保護を企業理念に掲げて、1864年に設立されたノルウェー・オスロに本部を置く第三者評価機関。

（※3）CBIとは Climate Bonds Initiativeの略で、低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO。

以上